

# パラトランジット & パーソナル・モビリティ フォーラム 2012 in 姫路

(P P M F : Paratransit & Personal Mobility Forum)

## 展示・試乗会の開催結果

### 1. 開催趣旨

近年、地球温暖化などの環境問題や急速な高齢化を背景に、徒歩と公共交通を補完するような「環境にも人にもやさしい」新たな交通システムが求められています。

昨年の東日本大震災が起きた際も、道路の被害、電力・燃料の制約などの中で、自転車やバイクをはじめとする「パーソナル・モビリティ」と呼ばれる乗り物の活用が見られたほか、カーシェアリングなどの導入実験も進みました。自動車メーカーなども積極的に開発に取り組んでおり、新たな成長分野として注目度が高まりつつあります。

こうした状況を踏まえ、バスとマイカーの間に位置する中間的な公共交通「パラトランジット」と、個別交通の乗り物「パーソナル・モビリティ」に着目し、様々な世代に、平常時・災害時の両方で受け入れられる新たな交通システムのあり方を検討するためのイベントを開催しました。

本イベントでは、国土交通省主催の「第33回総合的交通基盤整備連絡会議」に合わせ、様々な分野の「パーソナル・モビリティ」の企業・団体の取り組みを紹介するとともに、展示・試乗会を2日間にわたり開催し、市民、観光客の皆さまに試乗を体験していただきました。

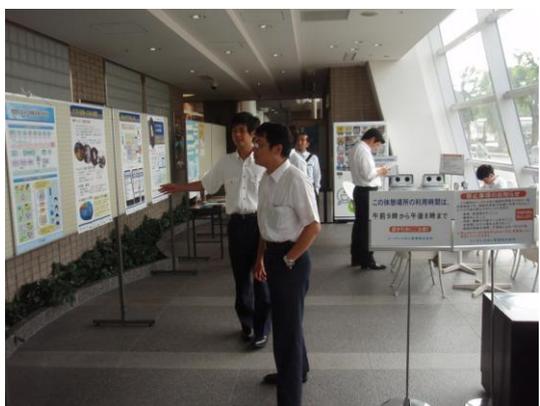
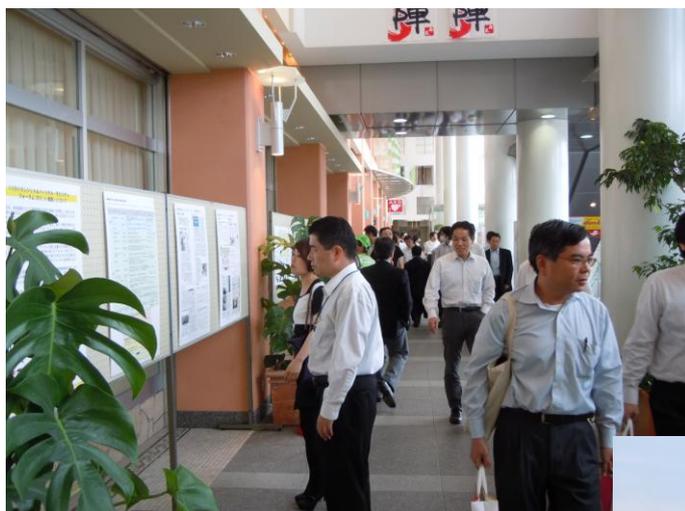


写真:展示会場（右上・右下）、試乗会場（左上・左下）

## 2. 展示・試乗会概要

## 1) 開催日時・場所

日時：平成24年5月31日（木）12:00～17:00  
 （「第33回総合的交通基盤整備連絡会議」に合わせて実施）  
 6月1日（金）10:00～16:00  
 場所：イーグレひめじ1階（試乗会は大手前公園）

## 2) 出展者と展示・試乗内容

(事務局を除き五十音順)

出展者	内容	出典物	連絡先
パラトランジット&パーソナル・モビリティフォーラム事務局	パラトランジット、パーソナル・モビリティ等の現状と東日本大震災での活用事例	・ポスター(6枚)	(社)日本交通計画協会 (株)サンビーム (TEL 03-3239-7070) <a href="http://www.sun-beam.co.jp/">http://www.sun-beam.co.jp/</a>
(株)アイソテック	緊急救護常設装置「救多郎」の紹介・展示	・ポスター(3枚) ・「救多郎」1台	〒104-0033 東京都中央区新川1-24-8 新川ビル4F TEL03-3297-2361 (9-17時まで) FAX.03-3297-2362 <a href="http://www.iiso.co.jp/">http://www.iiso.co.jp/</a>
アインエ機(株) (モービルジャパン)	電動トライク「ラビット3」の紹介・展示	・ポスター(3枚) ・電動トライク1台(試乗)	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目1-5 ライオンズマンション五輪103 TEL 022-297-6855 FAX 022-297-6866 <a href="http://www.einkoki.com">http://www.einkoki.com</a>
(有)エムアイ케어	車いすのまま乗車できる電動トライクの紹介・展示	・ポスター(1枚) ・配布資料等 ・電動トライク1台(試乗)	E-mail: info@m-i-care.com <a href="http://www.m-i-care.com/">http://www.m-i-care.com/</a>
(株)カワムラサイクル	ユニバーサル自転車「COOL'cle(クークル)」の紹介・展示	・ポスター(2枚) ・配布資料等 ・COOL'cle 1台(試乗) ・カルガモ1台(試乗)	<a href="http://www.kawamura-cycle.co.jp/">http://www.kawamura-cycle.co.jp/</a>
(有)サポートマーケティングサービス	水陸両用車「ARGO」の紹介・展示	・ポスター(3枚) ・写真・配布資料等 ・ARGO1台(展示) ・DVDプレイヤー	〒344-0063 埼玉県春日部市緑町2-14-13 TEL048-711-6867 FAX 048-733-4011 E-Mail: info@sms-argo.com <a href="http://www.sms-argo.com">http://www.sms-argo.com</a>
(社)日本交通計画協会	都市交通としての自転車利活用環境の整備	・ポスター(2枚)	<a href="http://www.jtpa.or.jp/">http://www.jtpa.or.jp/</a>
復建調査設計(株)	交通結節点の交通改善に向けたマイクロ交通シミュレーション&AR(拡張現実)を用いた移動支援ツールのご紹介	・ポスター(2枚) ・PCによるデモ	<a href="http://www.fukken.co.jp/">http://www.fukken.co.jp/</a>
(株)本田技研工業	電動車いす「モンパル」の紹介・展示	・ポスター(3枚) ・配布資料等 ・モンパル2台 (展示・試乗各1台)	Honda お客様相談センター TEL 0120-112010 (受付時間:午前9時～12時、午後1時～5時) <a href="http://www.honda.co.jp/monpal/">http://www.honda.co.jp/monpal/</a>

### 3) 実施内容

イーグレひめじ1階吹き抜けスペースにてポスター、PC、DVDプレイヤー等を設置し、来場者に対して適宜説明、意見交換などを行いました。試乗会場では、出展者5団体による試乗体験、商品説明が行われ、来場者や出展者相互の意見交換が行われました。

### 3. 展示・試乗会場の風景



写真:(株)アイソテック「救多郎」

#### ソーラー式 AED 収納ボックス「救多郎」と身体保護・緊急搬送用マット「アイマット IDM-3」について

「救多郎」はスタイリッシュなフォルムと、ソーラー電源を採用した、電源不要の AED 収納ボックスです。「救多郎」に内蔵の担架「アイマット IDM-3」は、災害・備蓄・緊急・感染分野のあらゆる場面の要求にこたえる製品です。



(株)アイソテック



写真:アインエ機(株)「ラビット3」



写真:(有)エムアイ케어 WCV S-01



写真:(株)カワムラサイクル「クークル」



写真:(有)サポートマーケティングサービスARGO



写真:復建調査設計(株)



写真:(株)本田技研工業「モンパル」

## 4. 意見・質問等

## 1) 来場者から

試乗会の来場者からの意見、質問は以下の通りです。

「パーソナル・モビリティ」という言葉について、ほとんどの方が「知らなかった」と答えましたが、多くの方が「便利」、「環境にやさしい」などの印象を持ち、試乗を通じて今後もパーソナル・モビリティに乗りたいたいと考えるようになったことが分かりました。また、パーソナル・モビリティを活用した今後のまちづくりについては、「中心市街地がにぎわう」ことを期待する来場者が多くいました。

出展者に対しては、充電時間、走行距離、価格、必要な免許や手続きなど、実際の使い勝手に関する質問等が多く寄せられました。

表 来場者からの主な意見

項目	内容
来場者の属性	幅広い年齢の方が来場。回答者の7割が姫路市在住と回答。
PMの知名度	『パーソナル・モビリティ』については、全員が「知らなかった」と回答。
PMのイメージ	PMのイメージについては、「便利」、「環境にやさしい」との意見が多い。
試乗した感想	多くの試乗者が、試乗したPMに「関心をもった」、「楽しい」と回答。
今後の利用意向	試乗者の8割が今後もPMに乗りたいたいと回答。
PMに乗ってみたい場面	PMに乗りたいたいと回答した人のうち、過半数の人が乗りたいたい場面として「レジャー」を選択。
PMを所有する方法	所有の方法として、「必要な時にレンタル」や「複数人でシェアリング」との回答が多かった。
他の交通手段からの切替え・組合せ	PMに今後も乗りたいたいと回答した人のうち、多くの方が自家用車、自転車などから切替えたいと回答した。また、多くの方が自家用車、自転車などと組み合わせて利用したいと回答した。
まちづくりについて	PMを使ったまちづくりについては、「中心市街地がにぎわう」ことを期待する来場者が多かった。
その他の主なご意見	<p>「歳をとったので車に乗るのは危ないと家族から言われる。また、車を自分で運転するのは怖い。電動車いすのような乗り物があると出かけるのに便利。」 (70代・女性)</p> <p>「普段は二輪車に乗っているが、バランスが取れなくなった。乗りやすいものを検討しようと思い来場した。」 (80代・女性)</p> <p>「母が高齢になったので、ユニバーサル自転車がほしいと以前から思っていた。試乗できる場所があまりないので来場した。(試乗した感想を)母に紹介したい。」 (50代・男性)</p>

PM: パーソナル・モビリティ

## 2) 出展者からの意見

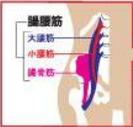
展示・試乗会実施後には、出展者らを対象として下記の項目について意見募集を行いました。提出された意見については、下記の通りです。

表 出展者からの主な意見

項目	内容
1. 試乗した方や来場した方からのコメントや、コメントから得た新しいアイデアや改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電動バイクについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「営業にしたい」との意見がありました。(アイン工機(株))</li> </ul> </li> <li>○車いす対応電動バイクについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子の方がそのまま乗ることができるバイクということで画期的だと声をいただきましたが、屋根がないこと、また、走行距離の改善という声がありました。((有)エムアイ케어)</li> </ul> </li> <li>○ユニバーサル自転車について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「補助輪のレバーはいらない」など簡単操作を希望されたお客様がおられました。(株)カワムラサイクル)</li> </ul> </li> <li>○水陸両用車について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ポスターをみただけでは性能が分からなかった。試乗させて頂き災害時等に使用できると確信しました。」と来場した方からお言葉頂きました。((有)サポートマーケティングサービス)</li> </ul> </li> <li>○電動車いすについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「倒れないし、力も要らないから自転車より安心。行動範囲が広がりそう。」との意見がありました。(株)本田技研工業)</li> </ul> </li> </ul>
2. 他の出展者からのコメントや、新しいアイデア、今後の協力の可能性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水陸両用車について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「電動化したらパワーがおち、駆動時間が短くなってしまうのでは」と話がありました。今後、強力なバッテリーが開発されれば、電動化へ更に近づきパワー・駆動時間も現在のガソリンと、差が出ないようになればと思っております。((有)サポートマーケティングサービス)</li> <li>・水陸両用車は、今後の救助活動に力をいれていただければと思います。((有)エムアイ케어)</li> </ul> </li> <li>○電動バイクについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人乗りバイクは快適で、乗り降りもしやすく、また速度も適度に出るので今後に期待しています。((有)エムアイ케어)</li> </ul> </li> </ul>
3. 今回のイベントに対する意見、乗り物等のPRなど ※PRは次頁に掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的交通基盤整備連絡会議の参加者全員が試乗会に来場するようになるとうい。</li> <li>・お年寄りに関係する雑誌などの取材があるとよい。</li> <li>・近隣の老人会の会員などに広報してほしい。</li> <li>・試乗会の開催地域に向けて事前の広報活動をしてほしい。</li> <li>・会議の場で報告できる機会があるとよい。</li> </ul>

ーパラトランジットとパーソナル・モビリティについてー

今回ご紹介したパラトランジット&パーソナル・モビリティの一覧です。

電動トライク	アイン工機(株) (モービルジャパン) 電動トライク「ラビット3」  	(有)エムアイケア WCV S-01   
	普通免許で公道走行可能な電動トライク	車イスのまま乗車できる電動トライク
住所	〒983-0842仙台市宮城野区五輪2丁目1-5ライオンズマンション五輪103	-
電話番号	TEL 022-297-6855 / FAX 022-297-6866	-
URL	<a href="http://www.einkoki.com">http://www.einkoki.com</a>	<a href="http://www.m-i-care.com/">http://www.m-i-care.com/</a>
E-Mail	-	info@m-i-care.com
PR	車検無し、ヘルメット無し、普通免許(オートマ可)、税金年間2400円と経済的、登録は軽2輪登録。3輪車のため倒れません。安全、しかも2人乗りです。通勤、通学、お買いもの、子供の送り迎え等、便利な乗り物です。電気トライクのため、ガソリン、オイル、不要。いやな臭いや騒音ありません。家庭の100Vコンセントから充電、電気代は走行1km当たり0.8円、軽自動車の10分の1と大変経済的です。	WCV (ホイールチェア ビークル)は、自動車でもなく、そしてバイクでもない、このスタイルならではの安心感と楽しさを併せ持つ画期的で自由な新感覚ビークル(乗り物)です。「S-01」は、ご自身の車いすに乗ったまま、簡単なレバー操作だけで乗り降りする事ができるので、いままでにない気軽さで目的地までの移動を可能にしました。EV車のため、走行中にCO2を一切発生しない、まさに次世代型ビークルです。
ユニバーサル自転車	(株)カワムラサイクル 「COOL'cle(クーケル)」   	(株)カワムラサイクル 「かるがも」  
	脚力の弱い人でも乗りやすいユニバーサル自転車	電動アシスト付のユニバーサル自転車
URL	<a href="http://www.kawamura-cycle.co.jp/">http://www.kawamura-cycle.co.jp/</a>	
PR	足を上げにくい方や脚力の弱い方、バランス感覚に不安をお持ちの方、片方の足や手で操作を行いたい方などにオススメの自転車です。自転車こぎは歩くよりも上半身をささえる「腸腰筋」を鍛える効果が高く、転倒や寝たきりを予防します。	かるがもコンパクトは次のような特徴をもつ電動アシスト自転車です。 ・乗り降り楽々      ・転倒しにくい ・スタンド不要      ・ふらつき低減 ・サスペンション付補助輪
電動車いす	(株)本田技研工業 電動車いす「モンパル」  	(有)サポートマーケティングサービス 「アクショントラックチェア」(左) 「アクショントラックスタンダー」(右) (※いずれも今回展示なし)   
	高齢者向けの電動車いす	キャタピラー付電動車いす
問合せ窓口	Hondaお客様相談センター	(問い合わせ先は、水陸両用車の欄を参照)
電話番号	0120-112010	
受付時間	午前9時～12時、午後1時～5時	
URL	<a href="http://www.honda.co.jp/monpal/">http://www.honda.co.jp/monpal/</a>	
PR	お出かけをして、毎日の生活を豊かなものにして欲しい。この想いから、Hondaは「安心」「快適」「簡単」にこだわった電動カート『モンパル』をご用意しました。モンパルがあれば、お買い物に行ったり、お散歩をしたり。行きたいところがどんどん広がります。 ・運転免許は不要 ・扱いやすいハンドル周り ・家庭用コンセントでカンタン充電 ・一回の充電で約25Km走行 ・坂道も楽に登れます(10°) ・周りからよく目立つように配置されたライト類と反射機	①アクショントラックチェアとアクショントラックスタンダーは、いずれもキャタピラーで駆動、スノーモービルと同様の丈夫な素材を使っています。動力は環境に配慮された電動バッテリータイプで騒音もありません。 ②操縦は、レバー操作で行い、通常の電動車いす等と同じく非常に簡単。オプションを装着する事で後方からの操縦も可能です。 ③アクショントラックスタンダーは、椅子部分が変形して立ち上がった姿勢をとることができ、その状態で走行することができるため、非常に重宝されています。 ④今まで車椅子で行けなかった砂浜や山道、凸凹した道、雪道など、キャタピラーによって走行可能になりました。ちょっとした段差でも楽々と乗り越え、悪条件での移動に最適です。

(次ページに続く)

(前ページから続く)

<b>水陸両用車</b>	(有)サポートマーケティングサービス 水陸両用車「ARGO」(アーゴ)	PR	
			
	災害時も活躍する水陸両用車		
	住所	〒344-0063 埼玉県春日部市緑町2-14-13	
	電話番号	TEL048-711-6867 / FAX048-733-4011	
URL	<a href="http://www.sms-argo.com">http://www.sms-argo.com</a>		
E-Mail	info@sms-argo.com		
<p>①不整地に力を発揮する車両です。水上でも陸上を走行するように操作出来、ぬかるみや瓦礫上でもなんなく走破する車両です。</p> <p>②装備品の変更により、色々な場面で活躍できます。例えば、ストレッチャーを装備する事により、傷病者を搬送したり、キャタピラーを装着すれば雪の上や氷の上も走行できます。中型ヘリコプターで運搬できるため、あらゆる現場で使用できる車両です。</p> <p>③登坂能力に優れていて、30°の傾斜面でも走行でき、オプションのウインチを使えばそれ以上の傾斜面でも移動する事が出来ます。</p> <p>今後は、船舶検査も取れるようになり、プライベートでも使用して頂けるよう広報していきます。</p>			

以下は、今回の展示・試乗会でご紹介できなかったパラトランジット&パーソナル・モビリティの一部です。

<b>パラトランジット</b>	NPO法人環境共生都市推進協会 「ペロタクシー」	(株)シクロポリタンジャパン 「シクロポリタン」	日本ケーブル(株) 札幌市「もーりすカー」
	<p>普及の進んでいる乗合タクシー等の他、自転車タクシーやミニケーブルカー等の新しい取組みが登場しています。</p>	<p>『環境にやさしい新しい交通システムと、動く広告がひとつになった乗り物』としてドイツで誕生</p>	<p>フランス発の電動アシスト自転車タクシー</p>
<b>今、注目のパラトランジット</b>	東日本大震災の被災に伴って高台移転が検討されている沿岸部では、上下方向の移動手段の確保が課題となっています。このような背景の中、高低差を結ぶケーブルカー等の乗り物が着目されています。また、被災地の多くが高齢社会であることを受けて、日常生活の足として高齢者が気軽に利用することのできる乗り物として、自転車タクシーにも注目が集まっています。		
	(株)シクロポリタンジャパン 「シクロポリタン」		日本ケーブル(株)「ミニケーブルカー」 (札幌市もーりすカー)
	TEL: 03-6456-1795		TEL: 03-3292-1171
	URL <a href="http://cyclopolitain.jp/">http://cyclopolitain.jp/</a>		<a href="http://www.nipponcable.com/index.html">http://www.nipponcable.com/index.html</a>
	E-mail info@cyclopolitain.jp		-
<b>PR</b>	<p>ベトナムの「シクロ」やタイの「トゥクトゥク」など、三輪車型タクシーは東南アジア諸国の風物詩として知られていますが、Cyclopolitain(シクロポリタン)は2003年にフランスで、三輪自転車タクシー「Cyclo(シクロ)」に市民である「Metropolitain(英語: Metropolitan・メトロポリタン)」を掛け合わせた次世代の環境配慮型タクシーとして登場しました。日本ではドイツ発のVELO TAXI(ペロタクシー)が先行しており知名度が高いですが、フランスのシクロポリタンは洗練された車体に電動アシストによるパワーで見てよし乗ってよしです。</p>		
	<p>このミニケーブル・Type-FB は、えい索を台車の左右に配置することにより、凹んだ地形にも対応する軌道系の傾斜地輸送設備です。客車は、走行レールの勾配が変化しても床面の水平を保つよう、客車部を懸垂する構造を採用しています。</p> <p>「もーりすカー」の設備概要                  水平長 : 221.34m                  傾斜長 : 233.47m                  高低差 : 72.38m                  毎時輸送力 : 最大800人</p>		
<b>超小型の四輪自動車タイプのPM</b>	日産自動車(株) 「New Mobility CONCEPT」	トヨタ車体(株) COMS	(有)タケオカ自動車工芸 「ミリュウ」
	<p>高齢者や観光者などによる近距離移動に適した超小型電気自動車で、本格的導入に向けた検討が進められています。</p>	<p>今の社会や移動の仕方に着目した新しいモビリティ、100%電気自動車です。</p>	<p>街乗りユースなどの近距離移動に適した超小型電気自動車。</p>
二人乗りタイプの超小型EV車		一人乗りタイプの超小型EV車	
<b>ロボット技術を活用したPM</b>	本田技研工業(株) 「UNI-CUB」	トヨタ自動車(株) 「Winglet」	セグウェイ社 「セグウェイ」
	<p>立乗り・腰掛タイプのコンパクトなパーソナル・モビリティで、空港などの大規模施設での活用が進んでいます。</p>	<p>腰掛タイプのPM</p>	<p>立乗りタイプのPM</p>

5. 報道

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/0005100098.shtml>

神戸新聞 (WEB版) 社会

交通行政の課題共有 姫路の会議に全国から集う



全国から交通行政の担当者が集まった連絡会議＝姫路市本町、イーグレひめじ

国や地方自治体で、交通行政を担当する職員らが課題を共有する「総合的交通基盤整備連絡会議」(国土交通省主催)が31日、兵庫県姫路市本町のイーグレひめじであった。全国から約190人が参加し、災害時を見据えた施策の在り方や、各地の取り組みを報告した。

前回は東日本大震災で被災した福島県で会合を開いたことから、33回目となる今回は阪神・淡路大震災を経験した兵庫県で開いた。

最初に国交省の担当者が、東日本大震災の被災自治体や交通事業者らの意見を基にまとめた冊子「地域のモビリティ確保の知恵袋」を紹介。発生から復旧までの対応策を時系列に整理した内容で「地域防災計画と関連づけることが大切」と訴えた。

姫路市の担当者は、JR姫新線の輸送改善に、県や沿線自治体と協力して取り組んだことを報告。高速化や増便で、乗客が1割以上増えたと強調した。(田中陽一)

(2012/05/31 21:50)

(平成24年)6月1日 金曜日 地域ニュース 24

### 交通行政の課題共有

国や地方の取り組みなど報告  
職員190人参加

国や地方自治体で、交通行政を担当する職員らが課題を共有する「総合的交通基盤整備連絡会議」(国土交通省主催)が31日、姫路市本町のイーグレひめじであった。全国から約190人が参加し、災害時を見据えた施策の在り方や、各地の取り組みを報告した。

最初に国交省の担当者が、東日本大震災の被災自治体や交通事業者らの意見を基にまとめた冊子「地域のモビリティ確保の知恵袋」を紹介。発生から復旧までの対応策を時系列に整理した内容で「地域防災計画と関連づけることが大切」と訴えた。

姫路市の担当者は、JR姫新線の輸送改善に、県や沿線自治体と協力して取り組んだことを報告。高速化や増便で、乗客が1割以上増えたと強調した。(田中陽一)

## ひょうご

本社 社会部 TEL:078-362-7040  
 姫路支社編集部 079-281-1125  
 東播支社編集部 079-422-2073  
 阪神総局 0798-33-5541  
 北摂総局 079-563-2256  
 明石総局 078-912-4343  
 淡路総局 0799-22-1277  
 北播総局 0795-42-5656  
 但馬総局 0796-22-3121  
 丹波総局 0795-72-0540  
 大阪支社編集部 06-6447-1841  
 東京支社編集部 050-3757-4234

神戸新聞

2012年(平成24年)6月1日 金曜日

# 電動バイクなど最新車両集結

## 1人乗り交通手段試乗会 姫路



操作が簡単な「電動カート」に試乗する女性＝姫路市本町

姫路市で開かれた「第33回総合的交通基盤整備連絡会議」に合わせ、電動バイクやユニバーサル自転車など新たな1人乗り交通手段「パーソナルモビリティ」などの試乗会が31日、同市本町の大手前公園などで始まった。(ひょうご面参照)

会議を主催する国土交通省の呼び掛けで、各種メーカーなどが企画。東日本大震災の被災地でも注目されたパーソナルモビリティの最新車両を集めた。

車いすに乗ったまま操縦できる「電動トライク」や、免許不要で運転が簡単な「電動カート」、3〜4個の車輪で転倒しにくくしたユニバーサル自転車など5車種を用意し

23 地域ニュー



た。

電動カートに試乗した同市御立東、中尾昭子さん(75)は「倒れないし力もいらなから自転車より安心。行動範囲が広がりそう」と話していた。

試乗会は1日も午前10時〜午後4時にある。無料。

(金 慶順)

一文責及びPPMF展示・試乗会についての問い合わせー

パラトランジット&パーソナル・モビリティ フォーラム事務局 株式会社サンビーム (担当: 渋谷、豊辺)

TEL 03-3239-7070